

令和3年飯田市議会第3回定例会一般質問通告表

令和3年9月14日、15日

No.	氏名	項目・要旨
1	小林 真一 (公明党) 【 30分 】	<p>1 通学路の安全安心について</p> <p>(1) 今回実施した通学路における緊急合同点検の状況は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 意見の集約方法は ② 危険箇所などの件数は ③ 通常、地域での地区要望等の意見集約方法は <p>(2) 市内通学路での安全対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 横断歩道やカーブミラーの設置ルールは ② ゾーン30や通学路のグリーンベルトの設置ルールは ③ ゾーン30などの交通規制上の課題は <p>(3) 通学路などにおける子どもの安全安心のための取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 保育園での対応状況は ② 児童生徒への対応は ③ 保護者への対応は
2	山崎 昌伸 (新政いいだ) 【 40分 】	<p>1 子どもの心と身体をどう守るか</p> <p>(1) 子どもの心と身体を守るには、公助の充実が不可欠と考えるが、市長及び教育長の見解は</p> <p>(2) 通学路の安全対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 通学路の危険箇所の実態把握と今後の対策は ② 通学路の危険なブロック塀の改善は進んでいるか <p>(3) コロナ禍が与える子どもへの影響は</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 昨年の一斉休校が子どもに及ぼした影響で、解消された点と今でも残っている課題は ② 困窮家庭が増加していることが予想されるが、飯田市の実情と対応策は ③ 「所得による教育格差の拡大」があると報道されているが、飯田市の実情と対応策は

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	山 崎 昌 伸 (新政いいだ)	<p>④ 「自粛生活による子どもの体力低下、肥満の増加」があると報道されているが、飯田市の実情と対応策は</p> <p>(4) ICT教育を進めるなかで、インターネット利用におけるリスクへの対応は</p> <p>① 学習用端末導入に際して、子どもを守る視点からどのような議論が行われたか</p> <p>② 導入当初に行われたリスク対策はどのようなものか</p> <p>③ 現在のリスク対策は十分か</p>
3	宮 脇 邦 彦 (公明党) 【 30 分 】	<p>1 コロナ禍を乗り越える取り組みについて</p> <p>(1) 新型コロナワクチン接種への取り組みについて</p> <p>① 現状における評価は</p> <p>② 若い世代へのワクチン接種の安全・安心の啓発活動は</p> <p>③ 今後の課題は</p> <p style="padding-left: 40px;">ア 9月中旬以降の接種券配布は</p> <p>(2) コロナ感染による病床確保の状況について</p> <p>① 確保病床の使用率は</p> <p>(3) コロナ禍での小・中学生の修学旅行について</p> <p>① 急な不参加に対する保護者負担への対応は</p> <p>(4) 「飯田市民支え合い市内観光キャンペーン」について</p> <p>① 事業内容は</p> <p style="padding-left: 40px;">ア 販売状況と手応えは</p> <p style="padding-left: 40px;">イ 一部事業継続とされた、その経緯と考え方は</p> <p>② 「宴会場利用地域交流応援割引」事業については</p> <p style="padding-left: 40px;">ア 事業内容、販売実績は</p> <p>③ 再開に向けた課題及び広報についてどう考えるか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	福澤 克憲 (会派きぼう) 【 40 分 】	1 36災害から60年、防災・減災対策の考え方について (1) 河川・水路の管理、治水対策事業について ① 河川・水路の管理に対する飯田市の考え方は ② 飯田市危険木伐採事業補助金の活用状況は ③ 昨年の7月豪雨による天竜川上流部川路・龍江地区の土砂堆積の状況は ④ 天竜川のしゅんせつの状況は (2) 森林整備、里山保全の取り組みについて ① 間伐等の整備状況は ② 里山保全の考え方は ③ 森林経営管理法に基づく、飯田市森林経営管理制度の運用状況は ④ 森林環境譲与税、今後の予算の考え方は (3) 防災・減災、国土強靱化の推進について ① 公共施設の整備についての考え方は ② 有利な起債の5年間の活用計画は (4) 地域の取り組みについて ① 防災・減災対策として地域に望むことは ② 災害時助け合い・住民支え合いマップの実効性を高めるためには
5	古川 仁 (日本共産党) 【 20 分 】	1 飯田市の新型コロナウイルス感染症対策について (1) 市内の感染状況について ① 感染者の傾向と状況は ② 医療機関の感染者受入状況は ③ 自宅療養について市は現状を把握しているか ア 感染拡大時の市の対応は (2) 中小企業・小規模事業者の状況について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	古 川 仁 (日本共産党)	① 個人事業主のみなさんへ傷病手当金支給の検討は
6	清 水 勇 (会派きぼう) 【 30 分 】	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 7月末から現在までのコロナ感染症陽性者の発生状況はどうか</p> <p>① 発生状況の分析から、陽性者の内訳についてどのように捉えているか</p> <p>② 1月、5月の感染状況との比較についてはどうか</p> <p>③ 飯田市におけるコロナ陽性者の入院と病床についてはどうか</p> <p>④ 飯田市における今後の医療対応についての状況と問題点は</p> <p>(2) 感染防止に向けた飯田保健所と飯田市の取り組みについて</p> <p>① 市民・飲食店、企業などへどのような対応をしているか</p> <p>② 市民に向けての広報はどうか</p> <p>(3) 簡易検査キットの活用状況について</p> <p>① 活用状況とアンケートの分析についてはどうか</p> <p>② 今後、簡易検査キットの追加についての考えは</p> <p>(4) 新型コロナワクチン接種の状況について</p> <p>① 現状と今後の取り組みについてはどうか</p> <p>② エス・バード接種会場との連携状況についてはどうか</p> <p>(5) 新型コロナウイルス拡大防止協力金事業への市の対応状況は</p>
7	市 瀬 芳 明 (日本共産党) 【 30 分 】	<p>1 コロナ禍におけるデジタル化推進・健康づくり・災害対策について</p> <p>(1) 対面が制限されている状況下での、デジタル化推進について</p> <p>① 学校行事や地区行事のオンライン配信は可能か</p> <p>② 公民館などで予定されていた会議等、飯田市がデジタルツールを活用して会議の開催を支援するための現状における課題は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	市瀬 芳明 (日本共産党)	<p>③ 教育分野における施設利用料等のオンライン決済化への進捗状況は</p> <p>(2) 体を動かす環境づくりについて</p> <p>① 今後のスポーツイベントの開催の予定と中止又は延期の判断基準についてどう考えるか</p> <p>② コロナ禍でも運動を推進できる政策はどのようなものがあるか</p> <p>(3) 防災・災害対策について</p> <p>① 男女共同参画の視点からの避難所づくりの進捗は</p> <p>② 避難所のコロナ対策は</p>
8	岡田 倫英 (会派きぼう) 【 40 分 】	<p>1 コロナ禍における児童生徒への対応について</p> <p>(1) 12歳以上のワクチン接種について</p> <p>① 受験や就職活動を控える市民を前倒しで対象にしたが、反響はどうか</p> <p>② 学校での集団接種は同調圧力につながりかねないと国が懸念を示しているが、飯田市はどう対応するか</p> <p>③ 本人と養育者がメリットとデメリットを十分理解できるよう小児科学会が提言しているが、どう受け止めるか</p> <p>(2) 臨時休校、学級閉鎖等が必要になる状況への備えについて</p> <p>① 令和2年春の全校一斉休校を踏まえ、改善充実を図った点はあるか</p> <p>② 学習用端末を活用する見通しは立っているか</p> <p>2 リニア駅周辺整備の実施設計について</p> <p>(1) 現段階における課題認識について</p> <p>① 行政評価で「コロナ後の状況なども見据えた検討を行っていく必要がある」と示しているが、具体的にどのような認識を持っているのか</p> <p>② 2027年開業の予定が遅れそうだが、駅周辺整備への影響をどう考えるか</p> <p>(2) 駅を降りた利用者に与える第一印象について</p> <p>① 木製大屋根で印象付けていく考えなのか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	岡田 倫英 (会派きぼう)	② 「伊那谷らしさ」の演出として、田んぼなどの田園風景を提案する声を聞く。基本設計の基本理念から逸脱しないと思うがどうか
9	小平 彰 (新政いいだ) 【 30 分 】	<p>1 コロナ禍及びポストコロナのスポーツ振興について</p> <p>(1) コロナ禍における市民のスポーツ活動の推進について</p> <p>① 飯田市スポーツ推進計画について</p> <p>ア 1次計画で「子供の体力・運動能力」及び「成人の日常的なスポーツ習慣」の数値を踏まえての取り組みは</p> <p>② 全市型競技別スポーツスクールの状況は</p> <p>③ 市内のスポーツ施設の状況について</p> <p>ア コロナ禍での利用状況は</p> <p>イ 新型コロナウイルス感染予防対策は</p> <p>ウ トイレの洋式化の計画は</p> <p>④ スポーツ指導者の育成はどのように行っていくのか</p> <p>⑤ 市民のスポーツの要望について</p> <p>ア 市民がスポーツをしたいときのガイドは</p> <p>イ アリーナの検討状況は</p> <p>ウ グラウンドの芝生化とテニスコートの照明の検討状況は</p> <p>⑥ ポストコロナを踏まえスポーツのあり方をどう考えるか</p>
10	木下 徳康 (新政いいだ) 【 30 分 】	<p>1 安全対策、災害等復旧について</p> <p>(1) 車両事故による防護柵等損傷の復旧について</p> <p>① 年間どのくらいの発生箇所があるか、その復旧期間は</p> <p>② 発生から復旧までの手順はどうなっているか</p> <p>③ 復旧期間は短いほど安心安全につながると思うが市の考えは</p> <p>(2) 災害等復旧について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	木下 徳康 (新政いいだ)	<ul style="list-style-type: none"> ① 昨年の7月豪雨の復旧状況は ② 未復旧となっている状況は ③ 早期復旧のための市の体制や取り組みはどうなっているか (3) 倒木の危険除去について <ul style="list-style-type: none"> ① 災害による倒木の状況は ② 危険木伐採事業補助金の活用状況は ③ 倒木対策などを今後どのように推進していくか (4) 道路や河川の整備や維持管理は重要と考えるが、市の考えは
11	新井 信一郎 (会派きぼう) 【 40 分 】	<ul style="list-style-type: none"> 1 農産物や希少植物等に対する鳥獣被害対策と里山の整備について <ul style="list-style-type: none"> (1) 被害状況は (2) 今後の対策は <ul style="list-style-type: none"> ① 個人向け支援策は ② 広域的支援策は <ul style="list-style-type: none"> ア 連続性のある電気柵の延伸は <ul style="list-style-type: none"> i 既存の効果は ii 維持管理体制は イ 里山エリアへ観光面、健康増進面からの人的誘導策は <ul style="list-style-type: none"> i 里山の観光化(キャンプサイトやリフト設置等)に向けた整備は ii 林業振興と併せた、ツリークライミングの推進は iii 遊歩道の整備や維持管理と利活用は 2 ユネスコエコパーク・南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの活用について <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本ジオパーク委員会審査の結果が公表された、南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの「条件付き再認定」について

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	新井 信一郎 (会派きぼう)	<ul style="list-style-type: none"> ① 反省点が明らかになったが、改善点は ② 今後の取り組みは <ul style="list-style-type: none"> ア 美術博物館の学芸員の有効活用は イ 全国にあるジオサイトを有する市町村との連携は <p>3 ユネスコスクールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 現状と課題は <ul style="list-style-type: none"> ① いつからどのように始めるのか (2) 小規模特認校との連携は <ul style="list-style-type: none"> ① 現在小学校までの期間であるが、中学校まで延長できないか <p>4 環境文化都市にふさわしい一升瓶のリユースについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 一升瓶の回収について <ul style="list-style-type: none"> ① 現状認識と課題は ② 今後の方向性は
12	佐々木 博子 (会派みらい) 【 30 分 】	<p>1 とともに支え合う男女共同参画社会について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ジェンダー平等と性別役割分担意識に関して <ul style="list-style-type: none"> ① 男性の性別役割分担意識についてどう考えるか ② 女性の性別役割分担意識についてどう考えるか ③ 「稼ぎ手男性中心社会」についてどう考えるか (2) ジェンダー平等と学校教育及びキャリア教育に関して <ul style="list-style-type: none"> ① 学校教育における男女平等教育に関して、飯田市の現状はどうか ② 職業選択におけるジェンダーバイアスの影響についてどう考えるか (3) ジェンダー平等とリーダーシップに関して <ul style="list-style-type: none"> ① 市職員の「ともに支え合う男女共同参画」へどう働きかけるか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	佐々木 博子 (会派みらい)	② 市長としてジェンダーギャップの解消についてどう考えるか
13	関 島 百 合 (無 会 派) 【 40 分 】	<p>1 有機農業を生かしたまちづくり</p> <p>(1) 飯田市を主会場に開催された「有機農業研究者会議2021」と、これに関連した「100年ごはんin伊那谷」について</p> <p>① 同会議で、全国に向けて佐藤市長があいさつした有機農業への思いと、「100年ごはん」に参加した佐藤市長の感想は</p> <p>② 同会議の運営に関わった市が、今回得たものと今後の展開は</p> <p>(2) 有機農業への支援について</p> <p>① 「南信州ゆうき人」発足の経過と今後については</p> <p>② 有機農業の根幹となる「土づくり」をどのように支援し、担い手を育て、ブランド化を目指すのか</p> <p>(3) 有機食材を生かした「地域産品」の販路拡大について</p> <p>(4) 学校給食への有機食材導入の進捗状況について</p> <p>① 6月議会の一般質問後からどのような動きがあるか</p> <p>② 見えてきた課題と今後に向けては</p> <p>2 災害から暮らしを守るために</p> <p>(1) 歯止めがかかる気配のない、気候変動による豪雨へ備える森づくり</p> <p>① 「カシノナガキクイムシ」による飯田市のナラ枯れの現状は</p> <p>② 「山の保水力」を防災にどう生かすか</p> <p>③ 河川管理の立場から「山の保水力」をどうとらえるか</p>